

東京大学IPMU-JAXA宇宙科学研究所 大学共同利用連携拠点による 宇宙科学と医学の連携

JAXA宇宙科学研究所 所長 常田佐久

記者会見「基礎科学は役に立つ」

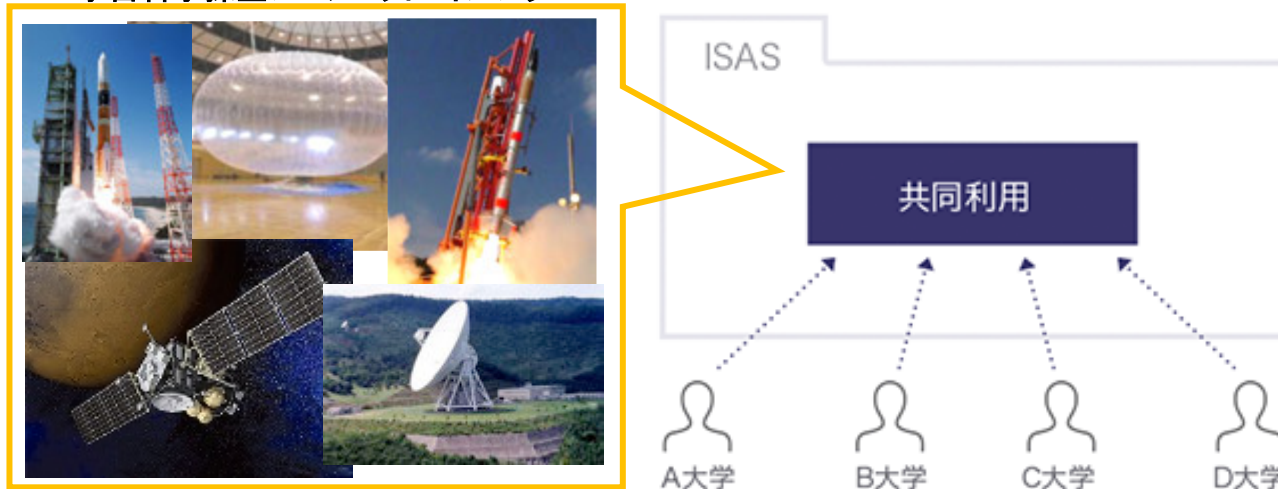
東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター

2018年3月26日16時-17時

大学共同利用に基づくこれまでの宇宙科学研究の仕組み

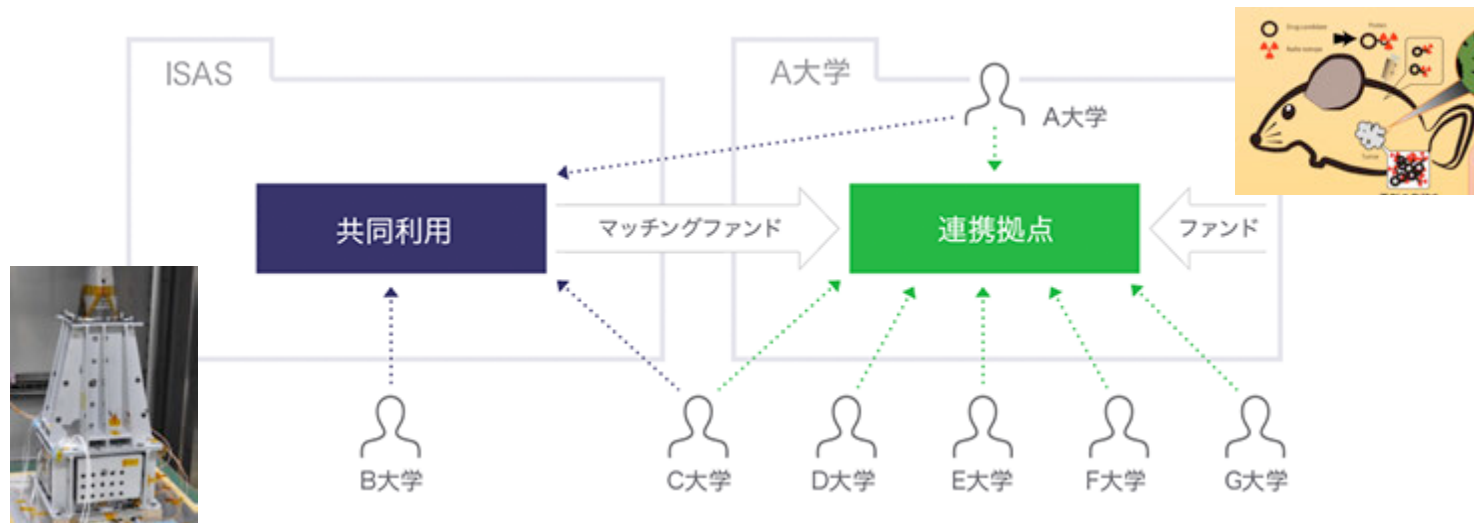
宇宙科学探査プロジェクト・インフラ

大学等研究者



- 大学共同利用システム: 個別の大学では実行不可能な宇宙科学プロジェクトを、宇宙科学研究所に資源やインフラを用意し、全国の研究者の力を結集し、効果的・効率的に宇宙科学研究を推進
- 以下のような課題も顕在化:
 - 惑星探査から初期宇宙にまで広がる多様な宇宙科学ミッションへのきめ細かい対応が難しくなっている
 - すでに確立した分野が固定化し、新規分野の立上げや他分野との連携が容易でない
 - 宇宙科学からその他の分野への弾力的・機動的な応用を宇宙研で行うことは必ずしも容易ではない
 - 大学から見た意義が見えにくくなっている

「大学共同利用連携拠点」により 成果の大幅な拡大を図る



- 宇宙科学に新たな価値を付与する拠点
- 宇宙科学の新たな分野を開拓する拠点
- 宇宙科学の人材育成を図る拠点
- 宇宙科学の成果を他分野に応用する拠点
- 宇宙科学への他分野からの参入を促進する拠点

拡大するJAXA大学共同利用連携拠点

- 東京大学IPMU 硬X線・ガンマ線イメージング連携拠点(2017年度～2020年度)
 - 宇宙X線・ガンマ線イメージング技術の応用により、高分解能小動物生体内3Dイメージングによるがん研究の革新
- 北海道大学 超小型深宇宙探査機用キックモータ研究開発拠点(2017年度～2020年度)
 - 超小型探査機を深宇宙軌道に投入する小型キックモータの実現
- 千葉工業大学 惑星探査研究センター 惑星探査基盤技術開発・人材育成拠点(2017年度～2020年度)
 - 太陽系科学探査を観測・観測装置の面から担う人材の育成とアストロバイオロジーの新展開
- 東京大学 超小型探査機開発拠点(2015年度～2018年度)
 - 東京大学の幅広い理工研究者の結集による超小型探査機による惑星探査の推進
- 神戸大学 惑星科学研究センター(2015年度～2018年度)
 - 世界的に重要性を増している太陽系科学探査を担う人材の育成
- 名古屋大学 ERGサイエンスセンター(2013年度～2017年度)
 - ジオスペース探査衛星「あらせ」と地上・他衛星の観測データを総合的に解析する拠点構築